

第73回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録(案)

1. 日 時：2015年8月28日(水) 13時30分～16時00分
2. 場 所：日本機械学会 第3,4,5会議室
3. 出席者：(委員22名中、出席者19名(うち代理2名)、欠席者3名)
小溝(阪大)、藤田(MHPS)、飯田(東電)、木村(NIMS)、三好(川崎重工)、
佐藤(発電技検)、長谷川(新日鐵住金)、岡(富士電機)、野井(ロイド)、
松田(HSB ジャパン)、天野(早大)、五代儀(火原協)、古屋(大口自家懇)、
島田(東芝)、大橋(IHI)、沖(電気協会：沖)、長尾(中部電力、15:00～)
代理者：長尾(電中研：屋口)、黒田(関電、桑野)
欠席者：三原(富山大)、野田(経産省)、長塚(電源開発)
オブザーバ：樺田(MHPS)、近藤(MHPS)、尾山(東電)、稲田(電中研)
事務局：原

4. 配付資料

- 73-1 第72回火力専門委員会議事録(案)
- 73-2 専門委員会・分科会委員案
- 73-3-1 第74回規格委員会議事録(案)
- 73-3-2 アルミ事例規格廃止に係る規格委員会委員長の見解および要望
- 73-4-1 材料分科会報告
- 73-4-2 構造分科会報告
- 73-4-3 溶接分科会報告
- 73-4-4 配管減肉分科会報告
- 73-5 各分科会審議履歴表
- 73-6 規格委 No293 書面投票結果と意見対応結果報告
- 73-7 火力専門委員会メール審議(規 No293 意見対応追補修正案)結果報告
- 73-8 規格委員会書面投票 No310(規 No293 意見対応追補修正案)投票状況報告
- 73-9 登録安全管理審査機関への JSME 火力設備規格説明会報告
- 73-10 発電用火力設備規格追補案(追加修正分)
- 73-11 配管減肉管理に関する規格(CA1)の規格委員会書面投票 NO304 意見対応
- 73-12 次期火力専門委員会委員長の選任手続きについて

5. 議事

- (1) 前回議事録確認 [73-1]

前回議事録(案)について確認を行ない、議事録案は承認された。

・誤記の2ヶ所を訂正する。

2P (3-1) 発電用火力整備規格 → 発電用火力設備規格

4P (3-2) 4) 第9回 → 第10回、H27.1.26 → H27.4.10

(2) 専門委員会、分科会の委員・役員承認

[73-2]

1) 専門委員会委員推薦の承認

火力専門委員会における以下の委員の再任意向が報告された。採決を行った結果、出席委員全員の賛成により、次回規格委員会に推薦することが承認された。

- ・火力専門委員会：（再任） 藤田委員（MHPS、副委員長）
飯田委員（東京電力、幹事）
三好委員（川崎重工業）
佐藤委員（発電技検）
桑野委員（関西電力）

2) 分科会委員の承認

各分科会の以下の新任候補の推薦および委員の再任意向および役員の互選による推薦が報告された。採決を行った結果、出席委員全員の賛成で承認された。

- ・材料分科会：（新任候補）西川 嗣彬 氏(NIMS)、吉田 政行 氏(東京電力、幹事)
（退任）井手委員(幹事)
（再任）なし
- ・構造分科会：（新任候補）なし
（退任）なし
（再任）飯田委員(主査)、高野委員
- ・溶接分科会：（新任候補）倉富 裕一郎氏(東京電力、幹事)
（退任）茂田井委員
（再任）逢澤委員
- ・配管減肉分科会：（新任候補）貞守勇之氏(中部電力)、尾山 泰彦 氏(東京電力、主査)
（退任）井手委員(主査)、大鹿委員
（再任）なし

(3-1) 発電用設備規格委員会報告

[73-3]

第74回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。主な事項は下のとおり。

- ・金子委員長からの要望事項について
- ・火力専門委員会委員・役員の承認
- ・火力専門委員会報告
- ・発電用火力設備規格に関する審議事項

発電用火力設備規格追補案の規格委員会書面投票結果報告と意見対応状況の報告、手続きの今後の進め方についての審議。

- (3-2) アルミ事例規格廃止に係る規格委員会委員長の見解および要望 [73-3-2]
飯田幹事から、資料に基づき「アルミ事例規格廃止に係る規格委員会委員長の見解および要望」について説明があった。

(3-3) 分科会報告

1) 材料分科会報告 [72-4-1]

木村材料分科会主査から第 78 回分科会 (H27.8.21) の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 材料専門委員会における SN 材の許容値の検討状況の報告
- 規格委書面投票 No310 に反映されていない火力発電設備規格追補案の追加修正箇所に関する審議
- 火 STBA28 系鋼の許容引張応力の見直しが行われていることの情報共有と、201X 年改訂版に反映させる方針の確認。

【質疑】

- ①高クロム鋼のクリープ強度見直しを火技解釈へ反映させるため、日本電気協会の火力専門委員会へ情報は提供されるのか。 → 高クロム鋼クリープデータ評価検討会が判断することであるが、情報提供されと考えている。
- ②寿命評価式についても、もう一度見直すということか。 → 許容引張応力と寿命評価式はセットになっていますので、許容引張応力の見直しに伴って寿命評価式についても見直すことになる。

2) 構造分科会報告 [73-4-2]

飯田構造分科会主査から第 86 回分科会 (H27.8.4) の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 第 72 回火力専門委員会、第 74 回規格委員会の報告
- 規格委書面投票 No310 に反映されていない追補案の意見対応による追加修正箇所に関する審議
- レビュー票の審議状況

3) 溶接分科会報告 [73-4-3]

樺田溶接分科会副主査から第 66 回分科会 (H27.6.23)、第 67 回分科会 (H27.8.26) の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

<第 66 回分科会>

- 規格委員会書面投票 No293 の意見対応案の審議
- レビュー票の審議状況

<第67回分科会>

- 規格委書面投票 No310 に反映されていない追補案の意見対応による追加修正箇所に関する審議。
- レビュー票の審議状況。
- 検査に係る用語の統一についての審議状況

【質疑】

- ・検査に係る用語については、「examination」「inspection」「testing」に対応する日本語をどうするかということか。 → はい、そうです。たとえば ASME では「inspection」は AI による検査を意味するなど、JIS 等の用語と若干異なる部分がある。このため、JSME 規格としてどのような用語を使うのが良いか調査・検討し、次回の分科会にて審議する予定。

4) 配管減肉分科会報告

[73-4-4,5]

近藤配管減肉分科会幹事から第 11 回配管減肉分科会 (H27.7.3) の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 配管減肉管理に関する規格 (JSME S CA1-2005) の改訂
第 72 回火力専門委員会において、原子力専門委員会の書面投票意見対応による改訂案が、承認されたことの報告。
- 火力設備配管減肉管理技術規格 (2009 年版) の改訂案の審議状況
- 三方向放射線透過法の審議状況
- 次回の火力専門委員会において、火力設備配管減肉管理技術規格の改訂案を提案する予定。

(3-4) 発電用火力設備規格追補案書面投票状況等報告

[73-6]

1) 規格委員会 No293 書面投票結果および意見対応報告

規格委員会書面投票 No293 (5/11~6/9) が可決になったことと、その意見対応が 8 月 18 日に完了したことが報告された。

2) 火力専門委員会メール審議(規 No293 意見対応追補修正案) 結果報告

規格委員会書面投票意見 No293 による意見対応による追補修正案を対象に実施したメール審議 (7/31~8/6) 結果 (可決) が報告された。

3) 規格委員会 No310 書面投票(規 No293 意見対応追補修正案) 投票状況報告

規格委員会書面投票意見 No293 による意見対応による追補修正案を対象に実施する規格委員会 No310 書面投票 (8/7~9/7) の投票状況が報告された。

(3-5) 登録安全管理審査機関への JSME 火力設備規格説明会報告

[73-7]

飯田火専幹事より、資料 73-7 に基づき、説明会の参加者、配布資料、主な質疑について報告があった。

【質疑】

- ・説明会に関連して、不明な点について確認したい。
 - ①JSME の火力設備規格はいつ頃から適用になるのか。そのため事前に勉強する時間が必要になるので。
 - ②JSME の火力設備規格が現在の火技解釈に置き換わることになるのか。
 - ③電事法の溶接施工法や溶接士技量は使えなくなってしまうのか。
-
- ①規制側の話ですが、電安小委の中では火技解釈の安全率を 3.5 にしてから JSME 火力規格の取り入れを検討する、とアナウンスされていますので、もう少し時間がかかると思われる。
 - ②これも規制側が決める内容ですが、火技解釈の中に JSME 火力規格が並列的に取り込まれることが想定されます。ただし、いいところ取りをすることはできないと思われる。
 - ③これは②にも関連しますが、JSME 規格で新たに施工法を取る必要があるとしても、現在の火技解釈が無くなるわけではないと思われるので、火技解釈で行う場合は今までの溶接施工法等が使えなくなることはないと考えている。

(4) 審議

- 1) 発電用火力設備規格追補案(追加修正分)の承認 [73-10]
規格委員会書面投票 No310 に反映されていない追補案の追加修正部分について、木村材料分科会主査、飯田構造分科会主査、樺田溶接分科会副主査から、資料 73-10 に基づき提案があった。審議の結果、委員全員の賛成により提案内容について、以下の 2 項目が承認された。なお、資料 73-10-1 の変更点对比表(材料分科会)は、今回提案する修正内容が分かるように、修正前の追補提案内容の欄を追加する。(8/31CS キャビネット当該フォルダに登録済み。)
- ①修正内容が、編集上の修正または軽微な技術的な修正であること。
 - ②修正内容が妥当であるので、当案を発電用設備規格委員会に上程すること。
- 2) 配管減肉管理に関する規格(CA1)の規格委員会書面投票 No304 意見対応 [73-11]
原子力専門委員会配管減肉分科会の稲田主査から、資料に基づき「配管減肉管理に関する規格」と参考資料「配管減肉に関する技術的知見の現状」の規格委員会書面投票の意見対応による修正について提案があり、審議の結果出席委員全員の賛成により提案内容を規格委員会に上程することが承認された。

【質疑】

今回提案のあった意見対応については、火力の配管減肉分科会も承知しているのか。

→ 原子力専門委員会の分科会がメインで対応しているが、共同提案者である火力の配管減肉分科会でも承認されている。

3) 次期火力専門委員会委員長の選任手続きについて [73-12]

事務局から、資料に基づき次期火力専門委員会の選任手続き、スケジュールについて提案があり、審議の結果出席者全員の賛成により提案内容が承認された。

4) 発電設備検査協会 I I P 委員会への委員就任(継続)について

事務局から口頭で、昨年度に引き続き藤田副委員長に、H27 年度発電技検に設置される I I P 委員会の委員への就任依頼が来ていることが報告され、出席者全員の賛成により委員への就任が承認された。

6. 次回開催予定

日 時：2015 年 12 月 4 日(金) 13:30～17:00

場 所：日本機械学会 第 1 会議室